

北海道天売高校 連絡船

第6号



水産クラブ

～「マリンバイオプラスチック」で優良賞を受賞！～

11月11日(火)、小樽水産高校で開催された第35回北海道高等学校水産クラブ研究発表大会に、本校を代表し、2年生の坂本翔君と萬谷佳帆さんが参加してきました。発表テーマは「マリンバイオプラスチック」です。これまで全校生徒8人で研究してきた成果を、代表の2人は堂々と発表していました。

透明度の高いきれいな海で百万羽の海鳥が躍る天売島も、海岸線をよく見ると木材やプラスチック製品などの様々な漂着物がたくさんあります。木材は土に還りますが、プラスチック製品は自然に分解されることなく半永久的に海岸線に残ります。今年度の研究では、漂着物によって天売島の絶景を半減させないために、水産実習の際に出る魚の鱗や内臓などの廃棄物からゼラチンを抽出し、土に還るプラスチックを作ることを試みました。製品化にはいたりませんでした。ゼラチンを硬化させるために試行錯誤を繰り返した実験内容や、天売高校独自の視点で評価されて、2年ぶりに2位に相当する優良賞を受賞することができました。

また、前日には交歓会が開催され、代表の2人は他校の生徒と有意義な交流を行うことができました。さらに、会場校である小樽水産高校の施設見学をさせていただき、普通科の本校にはない設備を実際に見ることができました。今年度の貴重な経験を体年度以降の研究にもつなげていきたいと思っています。会場校の小樽水産高校の皆様へ感謝申し上げます。



天売学「産業Ⅲ」 ～スモークサーモン～



10月11日(土)に、天売学の一環としてスモークサーモンの水産実習を行いました。生徒は大きなベニザケを台に載せてうろこを取ったり、身を3枚におろしたりして水産加工技術を学んでいました。経験豊富な3年生が手際よく、きれいにさばいていく一方で、初挑戦の1年生は少し苦戦している様子でした。1度経験している2年生は昨年度よりもきれいにさばっていました。下処理を行った後は、味付けをし、網に切り身を載せ、4日ほど風乾・燻乾を繰り返しました。今年度は、燻乾を終えたサケの中骨を除去し、身を切り分け、真空パックに詰めるという最終工程にも生徒が携わり、完成したスモークサーモンに大変満足している様子でした。

水産実習（サケ水煮缶） ～今年最後の水産実習～

11月4日(火)、今年度最後の水産実習となるサケ水煮缶作りを行いました。生徒は作業を分担し合い、手際よくシロザケ20匹をさばき、サケ水煮缶を完成させました。高校生活最後の水産実習となる3年生は、感慨深い面持ちで丁寧に作業に臨んでいました。また、1年生からは「来年も頑張る！」という頼もしい声が聞こえてきました。



生徒総会・役員認証式

～新しい生徒会になりました～



10月10日(金)、新生徒会の認証式が行われました。新役員は、これから学校をさらにより良くするために頑張りたいと、決意を新たにしていました。島民の皆様にも、応援のほどをよろしくお願ひします。

会 長	坂本 翔
副 会 長	野上 千利
書 記	萬谷 佳帆
会 計	泉谷 一貴

プランター撤去ボランティア

～晴天の下、作業を行いました～



10月19日(日)、6月に高校の前庭、高齢者支援センター、ちびっ子ランドに設置したプランターの撤去作業を行いました。天候に恵まれ、生徒たちは熱心に作業を行いました。天売小中学校の小学生も参加してくれて、順調に作業が進みました。苗を除去し、次年度に使用できるよう土とプランターを保管する作業でしたが、1時間程度で終了しました。次年度も島の景観の美化に努めたいと考えています。

天売学「観光Ⅳ」

～大学生も参加しました～



10月25日(土)の「天売学 観光Ⅳ」は、講師に地域おこし協力隊の宇佐美彰規さんをお招きし、生徒たちが天売島の町おこしのプランを考えました。夏場の魅力を満喫できる、キャンプ、釣り、トライアスロン大会などのほか、観光客の減る冬場の魅力を味わうためのアイデアが発表されました。また、今回札幌学院大学の学生5名の参加をいただき、温泉付きの複合施設の建設などの提案がされるなど、活気ある授業となりました。

学校開放講座算数教室

～小学生6人が学びました～

今回は11月8日(土)・9日(日)の二日間日程で算数・数学教室を行いました。初日はちびっこ2名、小学生6名、大人2名の計10名、二日目は小学生・大人の計8名で行いました。13時から15時までの約2時間、学校の授業では触れないような内容を中心に、図で考えたり規則性を発見するような数学的な活動をしてもらいました。最初の質問にほとんどが算数が苦手と答えた子どもたちでしたが、感想から「算数を少しおもしろいと思えた」「楽しかった」「すごい!」「ふしぎ!」「勉強になった」と感じる場面があったようで、とても有意義な時間となりました。

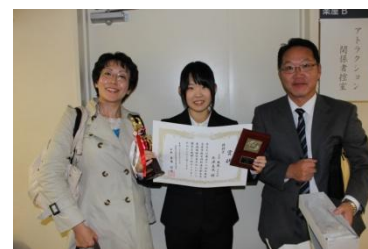
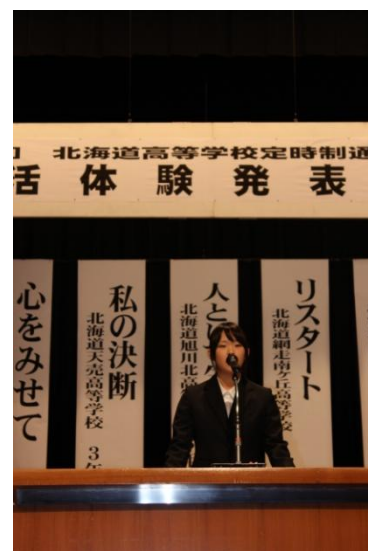


生活体験発表全道大会

～私の決断～

10月15日(水)、札幌市教育文化会館で、生活体験発表全道大会が行われました。本校からは空知地区大会で最優秀賞を受賞した3年生の三浦美咲さんが出場しました。定時制・通信制の高校に通う生徒がさまざまな困難を乗り越えた経験や、改めて気付いた大切な存在などについて熱弁をふるう伝統の大会で、全道各地の地区大会を勝ち抜いた11名が、それぞれのメッセージを語りました。

三浦さんは『私の決断』という題で、自分の明るい将来のために進学費用を全て自分の力で準備するという自分の決断について発表し、特別賞受賞という結果でした。静かながらも実直で意志の強さを感じる発表は、会場の聴衆に感動を与えました。



おわりに

今年も残すところあと1か月を切りましたが、生活体験発表全道大会や全道水産クラブ研究発表大会など、生徒たちの活躍が続いています。この成果を今年だけのものとせず、来年以降さらに大きな成果を出せるよう、教職員・生徒全員で頑張っていきたいと思ひます。今後とも皆様のご理解・ご協力をお願いします。